

御射山社跡（鳥居跡）

Eg/Eq



Ver.1(2020/2/1)

## 災害伝承 DATA

所在地：長野県上伊那南箕輪村神子柴  
緯度・経度：北緯 35 度 51 分 46.7 秒  
東経 137 度 57 分 12.9 秒  
伝承形式：遺跡  
種類 / 要因：地震 / 地震  
災害発生：1586 年（天正 14 年）1 月 18 日  
建立時期：1827 年（文政 10 年）7 月  
指定等：南箕輪村指定文化財  
周辺地形：山麓堆積地

### 言い伝え・伝説



観光情報はこちら

1586 年（天正 14 年）1 月の天正地震（M8.0 程度 諸説あり）により御射山社が崩壊し、その後長い間、造営されることがありませんでした。そこで、後々神社の基礎がどこにあったかわからなくなるように、地元神子柴区の人々がこの碑を立てました。

### 周辺案内

御射山遺跡近くには、「神子柴型石器」が出土した神子柴遺跡があります。神子柴型石器は旧石器時代末期のもので、国の重要文化財に指定されています。この遺物は伊那市創造館にて保管されています。なお、「神子柴型石器」は複製品（レプリカ）が作成され、南箕輪村郷土館で見学することができます。